

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 191

2006年

7～8月号

## 行 事 案 内

### 7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月9日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 アマサギの栗色毛、オオヨシキリの赤い口、ヨシゴイの低空飛行、アジサシのダイビング。そろそろ一人前の手賀沼のカルガモ、カイツブリ、バン、オオバン、コブハクチョウの子供達、夏ならではの美しさを観察しましょう。  
解 散 正午  
担 当 小林(寿)、野口(紀)、飯島、北原、桑森、佐々木、松田

集 合 我孫子駅北口 午前8時  
交 通 今井観光バス  
宿 泊 シャレー丸沼  
Tel 0278-58-4300  
費 用 23,000円(ゴンドラ往復、17日の昼のおにぎり、傷害保険を含む) 当日徴収  
案 内 丸沼高原ゴンドラで山頂駅(標高約2,000m)まで行き、山頂駅周辺の遊歩道を散策し夏鳥を楽しみます。また、霧降高原で高原の鳥を楽しみます。  
持 参 観察用具、天気が変わりやすいので防寒具・雨具(ヤッケまたはレインウェア、傘)、しっかりした靴  
申 込 受付中  
小玉文夫まで 定員25名  
Tel/Fax 04-7139-8260

### 8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月13日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 暑い盛りですが、コアジサシのダイビングや葦原を飛交うヨシゴイが見られます。秋のシギ・チの渡りも始まっています。  
解 散 正午  
担 当 北原、飯島、桑森、小林(寿)、佐々木、松田、野口(紀)

担 当 小玉、松田

### 多摩川河口探鳥会

期 日 8月27日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅改札口 午前8時  
交 通 JRで品川駅まで行き京浜急行に乗り換えてゆきます。切符は各自購入してください。

〔JR品川駅まで〕都区内フリー切符が割安〔京浜急行〕

- ・途中六郷干潟による人：六郷土手駅迄
- ・多摩川河口に直行する人：小島新田駅迄

### 日光白根・霧降高原探鳥会

期 日 7月16日(日)、17日(月・祭日)

案内 多摩川河口で秋の渡りのシギ・チを楽しみます。希望者で途中上流の六郷干潟にも寄って行きますが、この場合六郷土手(干潟)-多摩川河口間約5kmを徒歩で移動します。残暑が厳しい探鳥会です。帽子を忘れずに持参ください。

持物 観察用具、雨具、帽子、飲み物、弁当(途中購入も可)

申込 不要

担当 中野、佐々木

ソコンにインストールしておきますので午後1時まで持参・提出してください。

担当・連絡先

諏訪哲夫 : 04-7188-7137

中野久夫 : 04-7184-5419

映写会終了後納涼会(別途案内)があります。そちらも是非ご参加ください。

---



---

### 映 写 会

---



---

期日 7月22日(土) 午後1時30分

場所 水の館研修室(3階)

解散 午後4時

案内 会員の撮った写真やビデオを映写して楽しめます。作品を発表する方は7月18日(火)までに、諏訪宛写真の種類、枚数またはビデオの上映時間を連絡してください。写真は銀塩スライド・デジタル画像のいずれでも結構です。但し、内容は鳥や動植物など自然関連のものとし、一人40枚以内とします。デジタル画像ファイルは下記で願います。

メディア:スティックメモリー、フロッピーディスク、CD-R 何れでも可。ファイルは一括コピーできるように発表者名のついたホルダーに収納

ファイル名:番号・題名・撮影場所・日付・拡張子

[例] 01 ムナグロ北新田

060501.jpeg

(北新田で06/05/01撮影)

番号:映写順(昇順、途中の欠番可)数字は半角2桁1~9は01~09にする。

画像サイズ:800×600ピクセル以内。

発表作品は当日持参してください。但し、デジタル画像は開始前にパ

---



---

### 納 涼 会

---



---

期日 7月22日(土) 午後5時30分

場所 「養老の瀧」我孫子南口店  
我孫子市本町2-6-5  
Tel 04-7183-9996

会費 男性3,000円、女性2,000円

案内 映写会後の懇親・暑気払いの会です。この時期のビールは本当に旨い。皆さんふるってご参加下さい。

申込 定例探鳥会で、または北原まで。  
Tel 04-7183-4683

担当 北原、染谷

---



---

### ホ タ ル の タ べ

---



---

期日 7月30日(日) 雨天中止

集合 東我孫子駅前 午後7時

持参 懐中電灯、虫除け対策

解散 午後8時を目安

案内 毎年恒例となった岡発戸谷津田でのホタル鑑賞会です。谷津田はここ1,2年でかなり整備され、水辺や湿田の生物も徐々に増えていると思います。昨年はヘイケホタル21匹強が観察されました。今年はそれ以上のホタルが幻想的な世界に誘ってくれることを期待しましょう。

なお、解散は東我孫子駅前となります。

申込 不要  
担当 桑森、木村

## 7 月 幹 事 会

日時 7月9日(日) 13:30~16:30  
場所 我孫子市民会館 第3会議室

## 議 題

1. ほーほーどり 192号記載記事について
2. JBFの参加内容の検討と担当について
3. 報告事項
4. その他(議題を提出する場合は事務局にご連絡下さい。)

## 行 事 報 告

### 4月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2006年4月9日 9:00~12:00  
晴、強風、気温 17

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、トビ、キジ、オオバン、コチドリ、ムナグロ、セグロカモメ、ウミネコ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、セッカ、シジュウカラ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 35種

<探鳥班> 佐々木隆、榎本右、間野吉幸、中野久夫、島崎純造、飯島博、大田暁子、大久保陸夫、片桐邦夫、桑森亮、谷山晴男、川田光男、染谷迪夫、西巻実、宮下三禮、堀口勝、小口勝久、山田哲生、植田啓介、類地佑子、柴本三弘、柴本法子、田丸喜昭、田丸メリールイス、西嶋昭生、西嶋みどり、松本勝英、松本葉子、阿久沢八代、川名一栄、篠原良子、横瀬伸一、諏訪哲夫、渡辺政一、玉井修一郎、川村美恵子、六角昭男、武藤康之、田中功、小林寿美子、佐藤弘美、鶴田紀久子、植田悦子、鈴木静治、木村稔、野口紀子、野

口紀恵、小玉文夫、北原建郎、岩田孝之、吉

田隆行、小池勉、松田幸保 参加者 53名  
<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子  
調査日時 2006年4月2日 10:15~11:40  
曇り、風 15m前後、気温 16度

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	2	5	7
カンムリカイツブリ	5	0	5
ハシロカイツブリ	0	11	11
カワウ	25	45	70
ダイサギ	1	0	1
コサギ	0	1	1
アオサギ	3	0	3
コブハクチョウ	0	5	5
オカヨシガモ	0	3	3
マカモ	2	7	9
カルガモ	28	19	47
コガモ	9	30	39
オカヨシガモ	42	2	44
ヒトリガモ	0	55	55
ハシロ	0	13	13
バン	0	1	1
オオバン	3	28	31
タシギ	0	1	1
ウリカモ	1	3	4

セグロサギ	7	5	12
合計	128	234	362

### 5月手賀沼探鳥会とカウント

今月の手賀沼探鳥会は「Enjoy 手賀沼第17回バードウィーク探鳥会」に合わせて行われました。

調査日時 2006年5月14日 9:00~11:30  
小雨後曇り

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、キジ、バン、オオバン、タシギ、ユリカモメ、コアジサシ、キジバト、アマツバメ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計29種 番外 シジュウカラガン、バリケン、アヒル

<参加者> 島崎純造、村瀬和則、猪爪敏夫、間野吉幸、桑森亮、小玉文夫、西巻実、鈴木静治、宮下三禮、川田光男、榎本右、木村稔、諏訪哲夫、飯島博、首藤佑吉、武藤康之、野口紀子、小口勝久、田中功、渡辺政一、平岡考、松本勝英、北原建郎、田丸喜昭、松田幸保、染谷迪夫、黒田健一郎 計27名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子  
調査日時 2006年5月3日 12:00~13:30  
晴、無風、気温16度

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	2	2	4
カワウ	15	37	52
タシギ	0	4	4
コサギ	0	2	2
アオサギ	4	0	4
コブハクチョウ	0	5	5
カルガモ	2	0	2
ユリカモ	3	6	9
コガモ	0	4	4
ヒドリガモ	0	1	1
オオバン	0	2	2
ウグイス	0	8	8
ムクドリ	0	22	22

セグロサギ	2	0	2
合計	28	93	121

### Enjoy手賀沼! 第17回手賀沼探鳥会

日時 平成17年5月14日(日)

9:00~11:30 天候 小雨後曇り

集合 千葉県親水広場 水の館前

「2006Enjoy手賀沼!」に併せ、山階鳥研、鳥博及び当会の3者共催で実施した、恒例の市民探鳥会は水の館前から高野山の滝下広場までのふれあい道路と遊歩道を歩きながらバードウォッチングを行いました。

当日は、探鳥会開始直前になって雨が強くなって、実施が危ぶまれてきましたが、その後雨足は弱くなり何とか実施できる状態になりましたが、集まった一般参加者は6名でした。鳥博館長杉森さんの挨拶、次いで小玉副会長がコースと全般の説明を行い、各班のリーダーを紹介し、定刻9時に出発しました。雨模様の天気でしたので、受付を30分延長しましたが、新たな参加者はありませんでした。その後、当会の会員は三々五々と連れ立って探鳥会を開始しました。

開始後1時間も過ぎた頃ようやく天気が回復し、晴れ間も見えてきました。遊歩道からタシギやキジ等を観察して、何とか楽しめましたが、今回の探鳥会は天気予報がさっぱりあたらないし、なんとも意気の揚がらないものでした。

参加の会員の皆様、ほんとお疲れ様でした。

<参加者> 一般参加者6名、山階鳥研1名、鳥の博物館3名、当会会員27名  
参加者合計37名

(当日の探鳥会での認めた鳥は前掲の「5月手賀沼探鳥会とカウント」をご覧ください)

4月23日(日)実施予定の「秋ヶ瀬公園探鳥会」、および、5月7日(日)実施予定の「筑波山探鳥会」は何れも雨天のため中止しました

## 平成 18 年度総会報告

平成 18 年 4 月 9 日(日) 4 月手賀沼探鳥会終了後(13 時 00 分より 15 時 00 分)アピスタ 1F 工芸工作室において平成 18 年度総会が開催されました。会議は下記の各議案について審議が行われ、何れも原案どおり承認されました。また、夏季の定例探鳥会につき夏時間導入の提案がなされ、5 月の幹事会において検討されることとなった。

- 議案 1 平成 17 年度事業報告案
- 議案 2 平成 17 年度決算報告案
- 議案 3 平成 18 年度事業計画案
- 議案 4 平成 18 年度予算案

### 平成 17 年度決算および平成 18 年度予算

	17 年度 決算	18 年度 予算
<b>収入の部</b>		
会費	315,500	300,000
会行事収入	1,603,880	1,500,000
外部行事収入	0	0
ビ・オ・プ 受託収入	126,000	126,000
その他の収入	85,338	0
前年度繰越	220,708	227,341
合計	2,351,426	2,153,341
<b>支出の部</b>		
野鳥の部	1,726,841	1,685,000
環境保全の部	751	20,000
啓発活動の部	200,134	260,000
庶務の部	87,349	138,000
その他費用	109,010	40,000
次期繰越金	227,341	10,341
合計	2,351,426	2,153,341

### 平成 18 年 5 月幹事会報告

日 時 5 月 14 日(日) 13:30~16:00  
 場 所 我孫子市鳥の博物館 2 F 市民スタッフルーム  
 議 題 1. 平成 18 年度下期行事予定  
 2. 会報 191 号の記載記事  
 3. 定例探鳥会の夏時間導入  
 遠方から来る会員の交通の便等

考慮に入れると、集合時間は早くして 8 時であり、暑さは変わらないとの意見が大勢を占め、従来通りの時間帯で行う事に決定。

#### 4. 報告事項

- ・ JBF 実行委員会
- ・ 手賀沼流域フォーラム実行委員会
- ・ 第 3 回里山フェスティバル「里山シンポジウム」《里山とゴミ》協賛団体登録 昨年我孫子市で開催した行事
- ・ 手賀沼親水広場「水の館」における鳥類に関する展示について
- ・ 美しい手賀沼を愛する市民の連合会 10 周年記念号へ当会の投稿
- ・ 市民活動フェア IN あびこ 2006 報告書 受領

#### 5. その他

- ・ 今年度の手賀沼学会に参加する

### 18 年度下期行事(10 月~3 月)

- 10/07(土) 手賀沼流域フォーラム
- 10/08(日) 手賀沼探鳥会(午前)  
手賀沼クリーン作戦(午後)
- 11/03(金) 第 6 回ジャパノードフェスティバル  
~ 04(土)
- 11/12(日) 手賀沼探鳥会
- 11/26(日) 渡良瀬遊水地探鳥会
- 12/03(日) 手賀沼清掃
- 12/10(日) 手賀沼探鳥会
- 12/17(日) 芋煮会
- 12/30(土) 酒沼探鳥会
- 01/03(火) 銚子・波崎探鳥会
- 01/14(日) 手賀沼探鳥会
- 01/21(日) 市民手賀沼探鳥会
- 01/28(日) 井頭公園探鳥会
- 02/03(土) 市民活動フェア IN あびこ  
~ 04(日)
- 02/11(日) 手賀沼探鳥会
- 02/24(土) 軽井沢探鳥会  
~ 25(日)
- 03/11(日) 手賀沼探鳥会

## 念願のサンショウクイにあえた

猪爪敏夫

### —— 早春の裏妙義から軽井沢高原の旅 ——

『夏鳥にあいたい』という思いで、今年のGWは欲張りな計画を立て、実行してみた。このルートは、特に珍しくはなく、過去には当会で何回か実施済みであるが、GW中というのは初めてではなかろうか。それだけに、早春の上信越路の期待は大きかった。

- (1) 妙義湖でヤマセミを見たい
- (2) 裏妙義でイヌワシを見たい
- (3) 小根山森林公園でキツツキ類を見たい
- (4) 軽井沢高原でオオルリ、キビタキ、サンショウクイを見たい

今年は天候不順で、果たしてこの時期ほんとうに夏鳥が来ているのかという疑問があり、天気が左右しそうな心配があった。幸い5月3日～5日の3日間は晴天に恵まれ、カーナビとETCの威力のおかげで道路渋滞も何とか回避し、ほぼ計画どおりと鳥果も達成できた。

第1日(5月3日)晴

山桜の満開の妙義湖ダムサイトにやや遅れて到着。周囲を見渡すとボートや釣り客が多く、河原では花見客のバーベキューの宴会が真っ盛り。ヤマセミの出る気配は全くない。明朝の朝探を期待して宿舎入り。(裏妙義国民宿舎)

登山客で満室。バーダーは我々4名のみ。受付の鳥情報もおぼつかない。それでも、部屋に入った途端山側の窓を開けると、目の前フェンスにホオジロが止まって盛んに囀りかんげいしてくれた。カケスが数羽檜林の中を飛ぶ。

第2日目(5月4日)晴

朝探(5:00～7:00) - 妙義湖を下流から上流へ探鳥 -

まず、ダムサイトに陣取り対岸から聞こえてくるクロツグミの囀りに耳を傾ける。近くの桜にオオルリ飛来。鳴かずに飛び去る。中流域でキセキレイ、カワガラスが河原で採餌中。上空にはトビが乱舞。さらに上空にはワシ・タカラしき3羽が旋回するも確認できず。期待のヤマセミは出現せず。この時期はオシドリも既にいらない。

朝食後、宿の前庭で出発準備中もう一度西山側をスコープで探すと、断崖絶壁のテラスにイヌワシの雛1羽を発見。まだ白い産毛に包まれているが顔は完全な猛禽類。親鳥が餌を運んでくるのを期待して暫く観測することにしたが、近くをハヤブサが上昇してくるのを見てかすぐ後ろに下がって見えなくなってしまった。その間15分、ラッキーな一瞬でした。

小根山森林公園(9:00～12:00)

GWだというのに木曜日の閉園日は守られている。ゲートは鉄柵が施錠され車は入れない。やむなく徒歩で入園。世界の樹木が植林されているこの公園は大きい。林業試験場跡地を公園に改造している。その樹木に集まる鳥たちも多種にわたる。

最初に現れたのがコサメビタキ。整備された山道を進むと、キビタキ、オオルリ、ヤマガラ、シジュウガラの囀りが四方から聞こえてくる。芽吹き始めた木々と山桜が満開。時期も良く最高の場所である。展望台の前でキビタキが頭上に飛来し囀り始める。近くで見えるせいか特に色彩が鮮やかだ。

案内書のとおり、3ヶ所の探鳥舎を経て園内を一周する。遠くから谷間を歩いてアカショウビンの囀り、さらにオオタカの鳴き声が響く。森が深く鳥の姿はやや見にくい囀りを聞くには最高の場所に違いない。

軽井沢高原(14:00～16:00)

国道18号の碓氷峠を越えると、浅間山が姿を現す。頂上から噴煙が昇り5合目以上は残

雪で真っ白。軽井沢町に入ると急に外気温が下がるのが解かる。標高 1000m を超えるともみの木以外は新緑も見られない。山はまだ冬姿。夏鳥に思いをはせる。ピッキオセンターに立ち寄り鳥情報を聞く。夏鳥の情報が多数入っているので一安心。さらに北上を続け北軽井沢の桑森邸に到着。夕方、付近を探鳥し様子を調べる。小鳥が多い。明朝の探鳥に期待して、カンパイ！

第3日目(5月5日)晴

朝探(5:00~8:00)

北軽井沢の朝は小鳥の声で目覚める。5度ぐらいの外気は冬支度が必要。手袋のない手が冷たくなる。桑森邸の付近を一周する。アカマツと雑木林がある中に点々とカラフルな別荘が続く。コルリ、ピンズイが木のてっぺんで囀る。アカハラが地上で跳ねる。アカゲラが地面に降りて苔を採餌している。(これは、オドロイタ！)

日が昇ると急に暖かくなりいっせいに小鳥の囀りが大きく聞こえてくる。セキレイが屋根の上で忙しく踊っている。キビタキが前庭のアカマツに留まり、鳴き声を聞いてほしいと囀りはじめる。カラの混群が移動している。

塩壺温泉ホテル ロビー(9:00~9:30)

コーヒーを飲みながらロビーの前に来る鳥を見て一服する。冬場と違って鳥影は少ないが、イカル、シジュウカラ、エナガが餌場にやってきて目前で観察できた。

星野野鳥の森(10:00~12:30)

ポイントを3点に絞って探鳥

(1) 鶴溜 — あづま屋 — どんぐりの池

(2) ミソサザイの沢 — あづま屋

(3) 湯川の上流までヤマセミ調査

先行の鶴溜は冬場の賑わいはなく鳥影はまったくなし。あづま屋で休む暇なくアオゲラの声、近づいてくる。松ノ木に留まり動かない。スコープで狙う。背中の黄緑色が鮮やか。

どんぐりの池の頭上の木がゆれている。前頭の白い細身でヒヨドリ大の鳥が2羽見える。近くのバーダーがサンショウクイだと教えてくれた。雌雄のようだ。これまでの探鳥会でも見ていない。(手賀沼の鳥によると 当会独自警告種 消息不明・絶滅生物 絶滅危惧 類とある) 何しろ初見は感動するものだ。夏鳥としてはオオルリ、キビタキのような派手さはなく、話題性にも乏しく、どちらかという地味な鳥に違いない気がする。しかし、軽井沢では夏鳥としてごく普通の鳥だそう。自分の勉強不足を痛感する。

ミソサザイの沢に行く。少し登ったところにゴジュウカラの巣が木洞にあり、出入りしているのを発見。スコープをセットして待つことにした。すると、そのそばをミソサザイが飛び込んできた。これも沢ぞいの木元に巣があるらしく、すぐ隠れてしまった。両方を見たいので二手に分かれて待つこと数分、すぐ結論が出た。ゴジュウカラの親鳥が餌をくわえて雛に与えると飛び立っていった。その直後にミソサザイが木元からでてきて、流木に止まった。小さくて可愛い。短い尾を上げていかにも躍動しているかのようだ。

観察小屋で一服していると、外の方でオオルリがいると騒いでいる。出てみると10mぐらいの距離の木の枝に2羽のオオルリが止まっている。前の瑠璃色が雄、後ろの薄茶色が雌とすぐ判別できる。観察中、外人が寄ってきてスコープを覗くと『オオ！ビューティフル』の連発。国際都市軽井沢の光景だった。

湯川でのヤマセミ調査は、いちばん時間をかけたつもりが結局空振りになってしまった。ピッキオの説明では1日数回上流から下流へと降りてくるそうである。ヤマセミに出会えるのはまた暫くおあずけになりそうだ。

GWということで各地とも人出が多く、この時期は朝探に期待するところが大きい。

早春の上信越路は花がいっせいに咲き出し春爛漫。多少寒くても夏鳥たちは気配を感じて確実に飛来していた。(認めた鳥 52種) (参加者：桑森、北原、諏訪、猪爪)

## ヒグマを見てきました

松田幸保

昨年のですが、知床でヒグマを見るのが容易そうだと知り、あまり期待しないで10月上旬に行ってみた。世界遺産になった為か名のある宿は連日満員、やっと温泉付きの安宿を確保して女満別空港から妻と二人でレンタカーで出掛けた。網走監獄で昼食に「囚人食」を食べるなどしてのんびりし、夕方早めに斜里とウトロの間にある宿へ着いた。近くにサケが見られる川は無いかと尋ねたら、すぐ近くにあるという、行ってみると幅5mぐらいの川にうじゃうじゃ居るのに目を見張った。翌朝も行つてビデオや写真を撮つて車に戻ると、そばにパトカーがいる、密漁者だと思つたらしい、ご苦労様。

午前中は知床の遊覧船に乗ろうと思ひ、間に合うように行つたら前日に風があつたので欠航だという。それではと知床五湖へ向かう道を進むと、途中のひらけたカーブに止まってがけ下を見ているタクシーがあるので寄つてみると、30分前に仲間がヒグマを見たという、しばらく居てみたがオジロワシが飛んで来てただけだつた。羅臼岳の登山口へ向かうと所々にクマ待ちらしい車が見受けられる、登山道を1時間位登りオホーツクの眺めがよい場所で昼食をとっていると目の前にいきなりオジロワシが現れた、肉眼ではっきり分かる距離はうれしい。下山途中でカシの棒を持ったキノコ採りのおっさんと会う、クマよけだといひそれで木の幹を叩きながら歩いている、カンカンといひ音だ。

クマの気配はないので知床五湖へ行き五湖全部を回つてみる、山腹は紅葉しているが湖はまだ早いようだ。ここといひ知床自然センターといひ、女子トイレの行列が急な知床ブームを感じさせる。

クマ探しモードに切り替えて戻ると、車が何台か止まって数人の人だけがある、近寄ると目の前50mぐらいのところにはヒグマが居るではないか!! カメラを取つて戻つて来るとあいき動き出してしまった、川をさかのぼり木立の中に入ったと思つたら、道路を横切つて林に消えてしまった。ほんとなんだー!!

午前中のカーブのところに行つてみると、2人のカメラマンが居るので仲間に加わる。どうもここは確実なポイントらしい、なるほど眼下の河口の真ん中が黒く見えるのはサケ・マスの群れのような。海岸にカラスの群れらしい黒いかたまりが見えるので、双眼鏡で見るとなんと親子グマではないか、親はゆっくり子ははしゃぎながら河口に向かって行く、デジスコ向きの距離だ。河口で魚を獲り始めたが水が深いせいかなかなか獲れない、それでもなんとか捕まえて親子で食べている。身軽なもので、巨岩にたやすく上つたり下りたりする。海岸にまた一頭現れたが、親子グマに気付いたのか川に入らず対岸に登つてしまった。

翌朝も食事前に行つてみたがすでに先客が居る、聞くと今朝は出なかつたらしい。午前中は、以前から気になっていた羅臼湖へ行き、午後に岩尾別川へ行つてみたが、出ていないようなのでカーブポイントで待つことにした、今朝会つた人もすでに居てトータル3人スタンバイ。海岸にまた親子が現れた、早く日当たりの良いところへ行つてくれと祈る。

4日目は羅臼側の道路を半島先端へ向かい行き止まりまで行く、そこから番屋が無くなるあたりまで30分ほど歩いてみる。幅2,3mほどの川にもサケ・マスが遡上しているのには感心する、背中のもりあがったカラフトマスの雄がかっこいい。最終日なので早めに岩尾別川に行つてみると出ている雰囲気だ、30mぐらい先に魚を獲つているのかしきりに歩き回つているヒグマが見える、たまに我々カメラマンをじつと見ることもあり適当な距離の判断が難しく感じる、その後上流に向かうとあつという間に姿を消してしまつた。しばらく近くをうろうろしていたら目の前の木にオジロワシが飛んできた、逆光なのが残念だ。



## 5 月のおしゃべり

野口幸子

5月15日晴れ。1ヶ月半ぶりに布佐の美容院にカットに出かけた。しかも送迎つきで、私にとっては最高のさわやかタイムである。往復30分余りの若いスタッフとささやかなドライブだ。車中の今日の話は、昨年、美容院の玄関先に5羽の子ツバメの巣立ちを成功させた親ツバメのことだ。

4月に入って2羽のツバメが戻ってきて、昨年同様お客様の出入り口の真上に新しく泥を運び始めた。彼はあわてて「君たちの家はこっち（東側）の陸屋根の下だろう？そのまま残っているからそれを使ってくれよ」と語りかけながら新築途中の巣を水できれいに洗い流してしまった。その後気づいたかのようにツバメ達は小さな穴があいていた古巣の修復作業を始めた。これでやっとツバメ達の住家が出来たと思ってホッとした。でも、昼間なかなか昨年のような抱卵、子育ての様子が見られない。ツバメ達は昼間は不在で、夕方になると必ずもどってきた。「多忙な筈なのに何をしているのが気が気でないですよ」と彼。私は自分の粗末な知識から「ツバメは子育て中、若いツバメがヘルパーになって子育て（採餌）を手伝うそうよ」というと「それなら良かった。自分達が育った古巣を昼間のお疲れ休みどころに使っていると考えればいいですね」と彼。「君の愛がツバメ達にも通じて、正面の巣作りを途中で止めたなんて、素敵なお話ね」と私。帰りに東側の巣を見上げたら空っぽだった。「来年は成鳥になって、賑やかな子育てを見せてもらいたいな」と子煩悩な彼は来年に楽しみを託していた。そして「手賀沼のいろいろな鳥が人間と共生できるように、残された自然を維持していかなければ」と話していた。やさしいお兄さんとのお話でした。

（ツバメ達も懸命に生きています。巣を壊すのは止めましょう）

後日談：この美容院を利用している友人から、6月20日に行った時、「若いヘルパー？か別のツバメかわからないけど、2羽のツバメが子育てを始め、今では子ツバメも大きくなり6羽が確認できるようになった」とスタッフのお兄さんから聞いた。もちろん彼はおおよろこび、巣立ちを楽しみにしているという話。友人も帰りに巣を見上げたら「可愛い頭がならんでいたよ」と話してくれた。私も近々行くので車内のおしゃべりはその話でもち切りになるでしょう。

- お願い -

このおしゃべりの内容 野口幸子が間違っていたらご指導ください。お兄さんに伝えます

## 鳥 だ よ り

- |   |         |                              |      |
|---|---------|------------------------------|------|
| 03.07 [東中新宿] ヲグ (1) 6:40、人家の庭で囀り        | 飯泉仁     | 共同アンテナにとまる                   | 西巻実  |
| 03.14 [東中新宿] ツ (1) 11:00、鳴きながら上空を巡回していた | 飯泉久美子   | 03.24 [北新田] ヲグ (1) 、ヨシ原で物色飛翔 | 中野久夫 |
| 03.22 [つくしが丘] ツ (1) 16:20頃、林の中で鳴いていた    | 飯泉仁・久美子 | 03.24 [北新田] ヲグ (1) 2号排水路で    | 中野久夫 |
| 03.23 [布施新町4丁目] 材効 (1) TVの              |         | 03.24 [北新田] ヲグ (3) 鳴きながら飛翔   | 中野久夫 |
|   |         | 03.27 [北新田] ヲグ (1) 2号排水路路上   |      |

- で飛翔 中野久夫
- 03.28 [手賀沼] 材ハチョウ(2)マモの根採餌、  
岡発戸新田地先 中野久夫
- 03.28 [片山新田] ヒ(1)帆翔 中野久夫
- 03.28 [北新田] ノリ(1)畦上で採餌  
中野久夫
- 03.28 [北新田] ヲウゲンボウ(1)電柱から飛  
去 中野久夫
- 03.28 [北新田] ヲウギ(2)4号排水路で採  
餌 中野久夫
- 04.02 [北新田] ハブサ(1)電柱上  
中野久夫・金成典知
- 04.02 [岩井新田] カヒミ(2)ペアと思われ  
る個体で、雄が鳴き招いて追尾していた  
飯泉仁・久美子
- 04.02 [手賀沼] 材ハチョウ(3)下沼  
飯泉仁・久美子
- 04.02 [布瀬の水田] ヲウゲンボウ(1)水田  
の小動物を採餌 飯泉仁・久美子
- 04.02 [片山新田] ヒバリ(2)NR  
飯泉仁・久美子
- 04.06 [五条谷] 材効(1)林で声  
志賀鉄雄
- 04.08 [北新田] セカ(1)休耕田で囀り  
中野久夫
- 04.09 [鷲野谷] サバ(1)16:45過ぎ、県  
道脇の電線に止まり、道路脇の耕地に採餌  
に降りていった 飯泉仁・久美子
- 04.11 [北新田] ヲウギ(2)4号排水路で  
採餌 中野久夫・金成典知
- 04.12 [北新田] ヒ(1)お原上物色飛翔  
中野久夫
- 04.12 [北新田] ヲウ(1)お原上物色飛翔  
中野久夫
- 04.13 [若白毛] サバ(1)電柱上  
志賀鉄雄
- 04.17 [岩井] ハブサ(1)シギ SP 追うも  
失敗、鉄塔に止まる 志賀鉄雄
- 04.17 [大津川] イソギ(1)岸辺に  
志賀鉄雄
- 04.18 [中峠利根川ゆうゆう公園] ヲウゲ  
ンボウ(1)飛翔 諏訪哲夫
- 04.18 [北新田] ヒ(1)2号排水路土  
手で 中野久夫・金成典知
- 04.19 [箕輪] サバ(1)電柱に止まる  
志賀鉄雄
- 04.20 [北新田] マキヅク(1)ムクノ群れ  
中 中野久夫・金成典知
- 04.22 [布瀬] サバ(1)木の天辺に  
志賀鉄雄
- 04.23 [手賀沼] 材ハチョウ(2)大井新田地先、  
声(葦の中) 志賀鉄雄
- 04.26 [片山] ヤガラ(2)地面に降り巣材  
啜え飛去 志賀鉄雄
- 04.26 [布瀬] ヒ(1)囀り竹林  
志賀鉄雄
- 04.27 [若白毛] ヒ(1)囀り  
志賀鉄雄
- 04.27 [北新田] ミカ(1)手賀沼方面に飛  
翔 中野久夫
- 04.28 [大井] ヒ(1)林で囀り  
志賀鉄雄
- 04.28 [片山] ヒ(1)囀り  
志賀鉄雄
- 04.28 [布瀬] 材効(1)囀り 志賀鉄雄
- 04.28 [布瀬] 材効(1)林の中より声  
志賀鉄雄
- 04.30 [泉] 材効(1)樹上に 志賀鉄雄
- 04.30 [片山] マキヅク(1)桜の木に  
志賀鉄雄
- 04.30 [柳戸] ヒ(1)囀り 志賀鉄雄
- 05.01 [風早] ヲト(1)小砂利の上を鳴  
きながら飛び回る 志賀鉄雄
- 05.01 [片山] セダ 仏シイ(1)囀り  
志賀鉄雄
- 05.01 [手賀] サバ(1)木枝で物色  
志賀鉄雄
- 05.01 [藤ヶ谷] サバ(1)林で声  
志賀鉄雄
- 05.01 [藤ヶ谷新田] セダ 仏シイ(1)囀り  
志賀鉄雄
- 05.01 [藤ヶ谷新田] 材効(1)囀り  
志賀鉄雄
- 05.01 [藤ヶ谷新田] ヤガラ(1)囀り  
志賀鉄雄
- 05.03 [泉村新田] ヒ(1)飛翔 志賀鉄雄
- 05.03 [泉村新田] サバ(1)飛翔  
志賀鉄雄
- 05.03 [手賀] 材効(1)囀り 志賀鉄雄
- 05.03 [手賀] ヲウギ(1)谷津田で採餌、  
飛び去る 志賀鉄雄
- 05.03 [柳戸] 材効(1)囀り 志賀鉄雄
- 05.03 [若白毛] セダ 仏シイ(1)囀り

- 05.03 [鷺野谷] セダ`仏ツイ(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.03 [手賀沼] ヒ` (1) カラスに追尾されていた 志賀鉄雄  
飯泉仁・久美子
- 05.03 [中原ふれあい防災公園] 材刈(1) 9:00 すぎにくぜる 飯泉仁
- 05.04 [泉] 牝`舛(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.04 [大井] フウ(1) 声 志賀鉄雄
- 05.04 [金山] 牝`舛(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.04 [手賀] 牝`舛(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.04 [手賀] ヒ` (1) 飛翔 志賀鉄雄
- 05.04 [布瀬新田] フウヅギ(1) 採餌 志賀鉄雄
- 05.04 [浅間橋] ヒツイ(1) 水面で休憩(浅間橋上流側30m程) 鈴木静治
- 05.05 [鷺野谷] 牝`舛(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.05 [北新田] ムラサキ(3) ムガの群れ中 中野久夫 20名
- 05.09 [泉] サバ(1) 杉の木の天辺に止まる 志賀鉄雄
- 05.09 [片山] ツグミ(1) 枝に止まる 志賀鉄雄
- 05.09 [北新田] コガモ(6) 2号排水路で 中野久夫・金成典知
- 05.09 [北新田] カッコ(1) 河川敷の柳上 中野久夫・金成典知
- 05.12 [大島田] 牝`舛(1) 轉り 志賀鉄雄
- 05.13 [金山] コドリ(1) 鳴きながら飛翔 志賀鉄雄
- 05.13 [岡発戸新田] ムコドリ(2) 桜の木枝で採餌 志賀鉄雄  
鈴木静治、猪爪敏夫、谷山晴男、川田光男
- 05.15 [染井入新田] セウカギ(1) 採餌 志賀鉄雄
- 05.15 [染井入新田] サバ(1) 電柱上より飛去 志賀鉄雄
- 05.15 [藤ヶ谷新田] 牝`舛(1) 鳴きながら移動 志賀鉄雄
- 05.16 [染井入新田] フウヅギ(1) 採餌 志賀鉄雄
- 05.16 [鷺野谷] アバズク(1) 声 志賀鉄雄
- 05.17 [若白毛] アバズク(1) 声 志賀鉄雄

- 05.18 [上沼田] フウ`ホウ(1) 物色飛翔 大久保陸夫
- 05.21 [片山] 牝`舛(1) 森で鳴き声 桑森亮
- 05.21 [片山] サコウヨウ(1) 森でホトホトの鳴き声 桑森亮
- 05.21 [中峠利根川ゆうゆう公園] カッコ(1) 鳴き声 諏訪哲夫

**今回の観察者の総投稿件数**

赤尾完	1
飯泉久美子	5
飯泉仁	59
飯泉仁・久美子	124
大久保陸夫	10
桑森亮	9
志賀鉄雄	168
首藤佑吉	3
鈴木静治	1
鈴木静治・猪爪敏夫・	
谷山晴男・川田光男	1
諏訪哲夫	34
中野久夫	85
中野久夫・金成典知	27
中野久夫 20名	5
西巻実	2
松田幸保	2
<b>総計</b>	<b>536</b>

紙面の都合上、皆様から寄せられた鳥便りの一部を掲載させていただきましました。なおご報告いただいた鳥便りは全てデータベースとして収録させていただきましました。

(諏訪哲夫)

**平成18年度山階芳麿賞贈賞式・受賞記念講演とシホ`ジュム「アホウドリ復活への展望」案内**

日時 平成18年9月23日(土)13:00~16:10  
会場 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)  
参加費 500円  
申込 往復はがき(1通2名まで)に「講演会参加希望」・参加者全員の住所(郵便番号)・氏名・返信用宛名を明記のうえ下記へ申し込む。9月8日(金)必着。  
申込先 〒270-1145 我孫子市高野山115 財団法人山階鳥類研究所「山階賞・シンポ」係り Tel 04-7182-1101  
主催：山階鳥類研究所 共催：朝日新聞社

## 会 員 便 り

\* 前略 ご無沙汰しておりますがお元気ですか。この時期林ではキビタキ・ウグイスの囀りが楽しめます。又 昨年同様、明け方にアオバズクの声を聞きました。一方、手賀・布瀬新田地域で、シギなどの渡りが極めて少なく思いますが北新田地区他では如何でしょう。情報が少なく、鳥便りを待ちたいと思います。

早々 志賀鉄雄

\* ほーほーどりの探鳥会の報告記や手賀沼の水鳥など、いつも楽しんでます。今年は冬鳥が少なくさびしかったですが、タゲリは何度か見られました。 竹内英子

\* ご無沙汰ばかりでスミマセン。会報楽しみに拝読させて頂いております。

会の益々の御発展をお祈りしつつ――

工藤泰恵

## 事 務 局 よ り

### 新会員紹介

\* 西嶋昭生 我孫子市白山 在住  
西嶋みどり(同上、家族会員)  
三科徹 東京都中野区沼袋 在住  
(染谷)

### 寄付のお礼

寺田義男さん、竹内英子さんよりご寄付を

頂戴しました。厚く御礼申し上げます。  
(北原)

## 投 稿 の お 願 い

会員の皆さんからの探鳥記、楽しい話題、スケッチ、写真等の投稿をお待ちしています。

投稿先 小玉文夫まで

270-1144 我孫子市東我孫子 1 - 2 8 - 8

Fax 04 - 7139 - 8260

## 手 賀 沼 学 会

7月8日(土)第3回手賀沼学会大会が開催されます。間野会長が「手賀沼の鳥は、今」と題して29年間に亘り当会で集積した水鳥の調査データを基に手賀沼の生態系や問題点を講演します。また、ポスターセッションにおいては「手賀沼ビオトープで観察された鳥たち」を展示します。

日 時 2006年7月8日(土) 11:00

会 場 中央学院大学 30周年記念館

基調講演 13:00

甘粕建(新潟大学名誉教授)

「我孫子古墳群と私」

手賀沼学会の問合せ先 Tel 04-7183-6522

## 我孫子野鳥を守る会 会報 No191 2006年(7 ~ 8月号)

発 行 2006年7月1日

発行人 間野吉幸 我孫子野鳥を守る会 会長

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1 - 9 - 4 Tel 04-7182-3972

振 替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000円(大学生、高校生 1,000円、中学生以下 500円、

家族会員 無料)